

年が明けたと思ったら、はや2月です。今年の立春は関東では穏やかな一日でした。皆様には約半年ぶりにメルマガをお届けしますがお変わりございませんか。このように長くお休みしたのは特に理由はありませぬ。単に担当者の手が動かなかっただけです。心よりお詫びいたします。新年を期して、より一層頑張っ、皆様の必要としている情報を発信したいと思っておりますので、2015年も日産合成工業株式会社メールマガジンを宜しく願ひいたします。

旧聞に属しますが、2014年の冬至はちょっと特別でした。冬至とは1年で一番昼間の短い日、2014年は12月22日でした。同時にこの日は陰暦11月1日にあたりました。このように冬至と陰暦の11月1日が同じ日になるケースは19年に一度しか訪れませぬ。そして「朔旦冬至(さくたんとうじ)」と呼ばれていませぬ。冬至は極限まで弱まった太陽が復活を開始する日です。また陰暦の1日は新月で、この日から月が満月に向かって復活しませぬ。すなわち朔旦冬至は太陽と月がともに復活し始める二重の「復活の日」で、非常におめでたい吉日とされていませぬ。古来朝廷では盛大な祝宴(朔旦の旬)を催したといわれていませぬ。

2014年の弊社の忘年会は、この朔旦冬至の日に行われませぬ。アベノミクスの効果が今一つはかばかしくないことや、わが国の酪農界は酪農家戸数も生乳生産量も減少するなど衰弱の一途をたどっていませぬ。二重の「復活の日」に開かれた忘年会を機にわが国酪農の復活が期待されませぬ。少しオーバーかもしれませぬが、この心意気で新しい年をスタートさせたいとおもひませぬ。

冬は花の少ない季節ですが、この時期ならではのうれしい花があります。蠟梅(ロウバイ)です。筆者は陽気に誘われるのではなく、寒さの中で、寒さに向かって咲く蠟梅が大好きです。小さく地味な花ですが、甘い香りを漂わせ春が近いことを実感させてくれます。自宅から40kmほどのところに宮山観音堂という古い観音堂があり、この裏手に20本ほどの蠟梅が植えられていませぬ。ここの蠟梅は毎年成人の日の前後に開花しませぬ。そのうえ成人の日は宮山観音の御開帳ですし、ご本尊の十一面観世音菩薩は牛馬の安全を護る仏として古くから地元で崇敬されてきませぬ。木彫りの素朴な観音様です。このようなわけで、毎年ご開帳に合わせてお参りに行きます。



今年もお参りし、蠟梅を楽しんできました。この日は天気が良く、遠くに雪を頂いた那須連山が見えていませぬ。

この観音堂のそばに、あまり大きくはありませぬが、アグリショップ(農産物直売所)があり、新鮮な野菜を売っていませぬ。またこの農産物直売所に隣接して、石臼挽きそばを食べさせてくれる小さな蕎麦屋があり、ここは昼食時には行列ができるほど繁盛していませぬ。名物は生の大根

の細切りをもりそばに混ぜた「すずしろそば」で、シャキシャキした触感が心地よいそばです。宮山観音にお参りし、蠟梅を楽しんだ後に、昼食として食べてきました。

さて、ニッサンメールマガジン第 98 号をお届けします。

口蹄疫の発生と我が国への侵入リスク

口蹄疫については、平成 22 年、宮崎県において 292 例もの発生がありました。その後、平成 23 年から平成 26 年までの間、国内における本病の発生はありませんが、現在、近隣諸国の発生状況等から我が国への侵入リスクは極めて高い状況です。

例えば、今月 6 日、韓国家畜衛生当局は、京畿道の養豚農家 2 戸の新たな発生とともに、同道の牛農家 1 戸で口蹄疫の発生が確認されたことを公表しました。昨夏に 3 年 3 か月ぶりに同国で豚での本病の発生が確認されて以降、初めての牛での発生事例となります。また、同国においては、先月以降合計で 35 件の発生が確認されています。

加えて、間もなく中国の春節（旧正月、2 月 19 日）を迎え、近隣諸国において人や物の移動が激しくなり、我が国への侵入リスクが更に高くなると予測されます。

このことから、農林水産省は本病対策に係る防疫体制の強化を確認し、全国規模での防疫対策に万全を期すため、平成 27 年 1 月 27 日に、都道府県の家畜衛生担当者等を対象として、「平成 26 年度 口蹄疫防疫対策強化推進会議」を開催しました。

平成 25 年度 牛乳生産費

平成 25 年度の搾乳牛通年換算 1 頭当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」といいます。）は 75 万 3,535 円で、前年度に比べ 2.1% 増加しました。生乳 100 kg 当たり（乳脂肪分 3.5% 換算乳量）の全算入生産費は 8,247 円で、前年度に比べ 2.0% 増加しています。これは、飼料価格の上昇により飼料費が増加したこと等によると考察されています。

平成 25 年農業総産出額

農林水産省が公表した平成 25 年の農業総産出額は、8 兆 4,668 億円で、前年に比べ 0.7% 減少しました。これは、野菜、果実及び畜産の各部門で産出額が増加したものの、米の産出額が減少したためです。

都道府県別農業産出額の順位は、1 位が北海道で、次いで茨城県、千葉県、鹿児島県、熊本県の順となりました。

主要部門別に構成割合をみると、畜産は合計 2 兆 7,092 億円で農業総産出額の 32.0% を占めており、次いで、野菜が 2 兆 2,533 億円で同 26.6%、米が 1 兆 7,807 億円で同 21.0% を占めています。

酪農・豆知識第 97 号の概要および URL

搾乳牛は多くのストレスにさらされており、そのストレスが生産性に強く影響しているといわれています。「ストレス」は本来物理学用語で、その意味は、物体が刺激（ストレッサ）を受けた時に内部に歪み（ストレス）を生じるというものです。しかし、この考え方を生体に適応した場合には、カナダの内分泌学者 Selye による解釈が一般的です。すなわち、生体の恒常性（生体の働きを安定させようとする働き）を乱すような刺激をストレス因子（ストレッサー）、それによって引き起こされた障害をストレスと呼び、その発現が主に下垂体－副腎皮質系のホルモンによって支配されていることを明らかにしました。そこで、この考えを乳牛の飼養管理に当てはめた場合について整理してみました。

詳細は「酪農・豆知識」第 97 号にまとめてあります。

「酪農・豆知識」は、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「技術情報」をクリックし、「酪農・豆知識」のページに入るとご覧になれます。ぜひご利用ください。

○ メールマガジンの配信も[当社のウェブサイト](#)から登録できます。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

お知らせアドレス変更をお忘れなく

——この mail を受信されている方に——

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。

配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしく申し上げます。

また、今後の配信が不要な場合にも[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。